

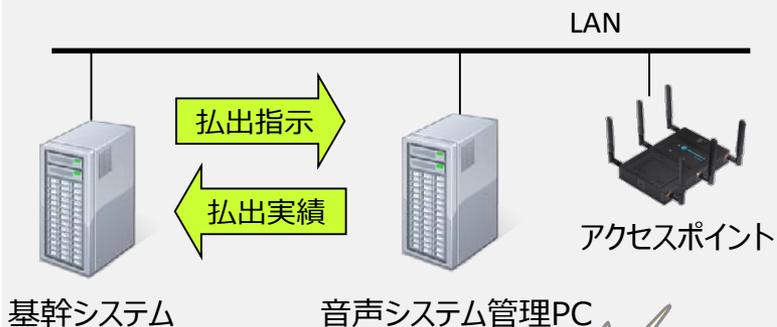
事例名： 音声ピッキングシステム POT Voice

ユーザ名：株式会社堀場製作所様

システム概要

製造現場への部品払い出しにおいて、音声ピッキングシステム POT Voice を導入するにより、作業のハンズフリー、アイズフリー運用が可能となり、誤ピッキング防止と生産性向上を実現しました。

システム構成



構成機器

- ・管理PC POT Voice
- ・音声端末 WT41N0VOW
- ・ヘッドセット RCH51
- ・ポータブルプリンタ PW208
- ・アクセスポイント AP-6532



PW208



RCH51



WT41N0VOW



情報媒体

- ・バーコードラベル

システムの特長

- 音声ピッキングでハンズフリー、アイズフリー作業となり、生産性向上を実現します。
- ピッキング時にウェアラブルスキャナで検品を行い、誤ピッキングを防止します。
- ピッキング完了時にポケプリから現品票が自動出力されますので、現品との照合作業が不要になります。
- 新工場での導入の為、将来的な棚増設・移動が発生した場合でもフレキシブルな対応を可能になります。

導入の背景

- 新工場稼働に向けて、従来のペーパーピッキングから生産性向上を目的としたシステムを検討する必要があった。
- 部品点数が多く、見た目では部品違いが判断が難しく、熟練作業者に依存しない平準化が必要であった。
- 誤ピッキングは、製品完成まで気づかない事があり、機会損失が大きいため誤ピッキングを撲滅する必要があった。

課題

- ペーパーピッキングによる目視照合のため、誤ピッキングが発生していた。
- 熟練作業者と初心作業者との作業時間に大きな差が生じていた。
- 生産拡張に伴う倉庫レイアウト変更が容易にできないため、倉庫が手詰まり状態になっていた。
- ピッキング完了後に現品票貼付け作業（セロテープ貼付）で無駄な時間を要していた。
- 日次単位のピッキング進捗をリアルタイムに把握できていないため、作業者の割り振りが的確に行われていなかった。

課題の解決

- 作業者は、音声指示の棚からの部品をピッキングすることに集中できるため、誤ピッキング抑制になった。
- 作業が平準化され熟練者と初心者の作業時間差が減少した。
- 両手が塞がることないため、大小様々な部品ピッキングが可能になり、作業性が向上した。
- ピッキング完了後に現品票（ラベル仕様）出力することで、貼付け作業時間が短縮した。

解決の効果

- 導入から3か月で1明細あたりのピッキング時間（生産性）は、約30%の向上した。
- 導入から3か月で初心者作業時間が導入前の熟練者レベルまで向上した。
- ピッキング進捗をリアルタイム管理することで、人員配置を効率的に行うことができるようになった。
- 倉庫レイアウト変更等にフレキシブルに対応できるようになった。

今後の展開

他拠点や関連会社への展開と音声システムの生産現場での活用

導入実績

参考URL

http://www.ainix.co.jp/products/autoid_system/logistics_production/pot_voice/

お問い合わせ先

アイニックス株式会社
営業部

TEL : 03-5728-7500

URL : <http://www.ainix.co.jp/>